JICA 教師海外研修　学習指導案・授業実践報告書

【実践者】

氏名	篠崎早織	学校名	千葉市立稲毛高等学校
担当教科等	英語	対象学年（人数）	2 年　　Ⅰ組（　38　名）
実践年月日もしくは期間（時数）		2021 年　1 月　　～　　2 月（　　6　時間）	

【実践概要】

1. 実践する教科・領域：

総合英語（SDGsについては、総合的な探究の時間に別途学習済み）

2. 単元(活動)名：

The Vancouver Asahi　（20世紀初頭の日系カナダ人の境遇と野球との関わりについて理解する）

3. 授業テーマ（タイトル）と単元目標

授業テーマ：

「多文化共生社会の実現～地域、SDGs、日系人を視点として～」

単元目標：

・カナダの日系移民が歩んだ苦難の歴史を知り、海外移住に伴う苦労を理解する。

・資料を用いて、SDGsの視点から、多文化共生社会を実現するための手段を考える。

・日本に住む外国人や日系人コミュニティの存在を知る。

・「豆腐100万丁プロジェクト」を例に、海外に住む日系人と日本とのネットワークを知るとともに、国際協力のあり方について考える。

関連する学習指導要領上の目標：

① 外国語を通じて，言語や文化に対する理解を深めること。 ② 外国語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成すること。 ③ 外国語を通じて，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする能力を養うこと。

4. 単元の評価規準	①知識及び技能	無生物主義、倒置、what を用いた強調について理解する。
	②思考力、判断力、表現力等	・テーマについて自分の考えを英語で述べることができる。 ・様々な資料から大事な情報を読み取り、英語でわかりやすく相手に伝えることができる。
	③学びに向かう力、人間性等	・相手の考えや発表を、興味を持って聴くことができる。 ・学んだことを自分事として捉え、社会のためにできることを考える。

5. 単元設定の理由・単元の意義 （児童／生徒観、教材観、指導観）	【単元設定の理由】 教科書本文では、在加日系人の苦難の歴史が、日系野球チーム Asahi を通して語られている。今でも多くの人々が移民として、様々な困難を抱えながら生活していること、そして日系人のネットワークは世界各地にあり、今でも日本とのつながりを様々な方法で保っていることを学ぶことは、世界を多角的に見るために重要であると考え、この単元を設定した。 【単元の意義】 グローバル化が進み、人の移動がより多くなった現在は、私たちの住む地域にも、多くの外国人コミュニティが存在している。当時の日系移民の境遇に思いを馳せながら、現在地域に住む外国の方について知り、日本で生きる彼らの苦労や祖国への思いを理解することは、国際協力への興味関心と異文化理解への一歩として、重要である。 【児童／生徒観】 2年生の国際教養科、女子31名と男子7名のクラスである。素直で、協調性があり、人の話をよく聴くことができる。英語を使うことに慣れており、英語で積極的にペアワークやグループワークを行う。学ぶ意欲は概ね高いが、新型コロナウィルスによって海外との関わりが減ってしまい、内向き志向になってしまっている生徒もいる。幅広い視野を持ち、外国への関心を持ち続けられるための指導を引き続きしていきたい。 【指導観】 本授業では、地域にいる外国人向けの実際の資料や写真を多く用意し、生徒に提示する。その理由としては、SDGsをすでに学んでいる生徒が、その達成のためにどのような取り組みが実際に行われているかを知るため、そして、在日外国人の日々の暮らしをより身近に感じるためである。それらの資料を用いながら、生徒同士による英語のディスカッションを多く取り入れ、生徒の考えを共有し、理解し合うように工夫をした。

6. 単元計画（全　6　時間）

時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1	教科書 Lesson9 導入	・本文の舞台であるカナダの基礎情報を英語で理解する。 ・在日外国人労働者の実情を知り、海外移住に関して英語でディスカッションをする。	①カナダに関するクイズに答える。 ②在日外国人労働者に関するニュース映像を観て、彼らの抱える困難について議論する。 ③教育、文化、仕事などそれぞれの観点から、海外移住にはどのような困難が伴うのかを考え、意見交換をする。	動画 ワークシート
2～5	本文理解 Part1～4	・英語で本文を理解し、自分の言葉で要約することができる。 ・日系人が移住先で経験した苦労について知り、人種差別や多文化共生について考える。	・新出単語理解 ・本文リスニング➡Retelling ・Picture Retelling	ワークシート パワーポイント
6 本時	Lesson9 まとめ	①地域に住む外国人の暮らしや現状について理解する ②国内外の日系人コミュニティについて知る ③多文化理解と国際協力への姿勢を養う	①実際に地域にある資料を用いて、それが何のために使われているのか、SDGs に照らしてペア（生徒 A、B）で考え、議論する。インフォメーションギャップの手法を用いるため、生徒 A と生徒 B は異なる資料を用いる。 ②群馬県大泉町の写真を見て、国内の日系コミュニティについて知る。 ②③豆腐 100 万丁プロジェクトの記事を読み、国外の日系コミュニティについて知るとともに、国際協力がどのような状況下、考えにおいてなされるのかを考える。	・ワークシート ・パワーポイント ・大泉町の写真 ・朝日新聞の記事 ・岐阜新聞の記事

7．本時の展開（　6 時間目）

本時のねらい：

過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動・指導形態	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5 分)	自分の住む地域で、多文化共生のための工夫がみられる例を挙げる ・ペア（生徒 A と生徒 B）での話し合い後、数人に発表させる。	具体例が出ないときは、教師が例を出し、議論を促す。	パワーポイント ワークシート
展開 (35 分)	①実際の資料を見て、外国人が地域で生活するためにどのような工夫があるのかを考える ・生徒 A は資料 A 群を、生徒 B は B ペアの生徒は資料 B 群をそれぞれ見て、資料を 1 つ選ぶ。 ・待っている時間で新聞記事を各自読む。 ・選んだ資料がどのような目的で、どのように役立てられているのかを SDGs に照らして考え、ワークシートに記入する。 ・ペアで自分たちの考えを共有する。 ・代表者がクラスで発表する。 ②群馬県大泉町の写真を見て、日系人のコミュニティが日本にもあることを知る。 ③新聞記事から豆腐 100 万丁プロジェクトについて知り、 ・海外の日系人コミュニティと日本との関わり ・豆腐を届けようとした人々の気持ち について議論し、国際協力について考える。	資料を閲覧する際に密にならないよう生徒の閲覧を数回に分ける。 選んだ資料が重ならないように、発表者を選定する。 写真が何を表しているのか、考えさせる。 ゆっくりと簡単な英語で説明をする。	在日外国人向けパンフレット、情報誌 『日本語学習生活手帳（中国語版）』 『日系ブラジル母子サポートマニュアル』 『指で話そう　災害緊急時多言語ハンドブック（8 か国語）』 『Philippine Digest』 『Latin-a』 『NIKKEI Network 海外日系人協会だより』等 群馬県大泉町の写真 法務省によるデータ 朝日新聞(2011 年 4 月 7 日) 岐阜新聞(2012 年 5 月 14 日)
まとめ (10 分)	①教科書にあるカナダと日系移民にとっての野球が果たした役割について考える。 ②感想記入		

8．評価規準に基づく本時の評価方法

生徒の発言内容、ペアワークの様子、ワークシートへの記入事項により、授業への取り組み状況を総合的に評価する。

9．学習方法及び外部との連携

7 から 12 月にかけて、SDGs に関する外国と日本との比較研究とそのプレゼンテーションをクラス内で行った。それに伴い、千葉大学大学院在学の留学生 8 名に計 3 回来ていただき、生徒とのディスカ

ッションや研究へのアドバイスをしていただいた。異なる文化的背景を持った人との交流により、様々な視点を得ることができて海外への興味関心が高まったのと同時に、英語で国際問題について知り発表することの大変さと意義を生徒は経験することができた。SDGs のレンズを通して世界のことを学べた充実感も生徒は感じられたようである。 　また、10 月には市ヶ谷にある JICA 地球ひろばをクラスで訪問し、ワークショップ参加や施設見学によって、SDGs や国際協力への理解を深めた。
10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組 　SDGs に関する外国と日本との比較研究の成果発表会を、校内の下級生に向けて行った。

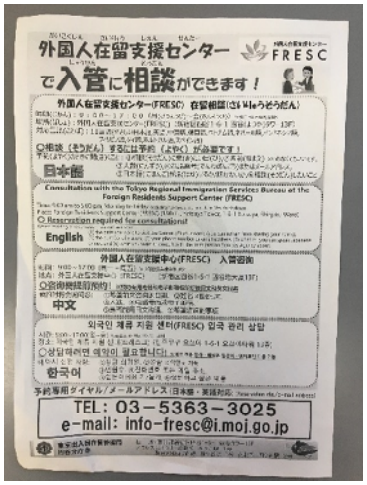
【自己評価】

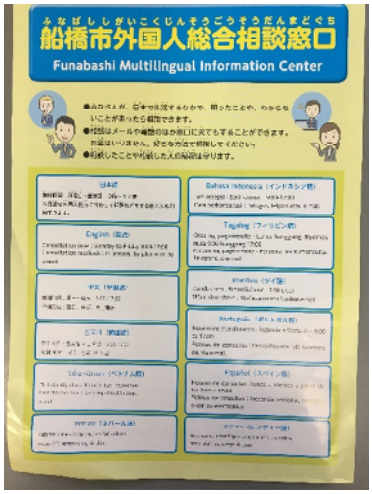
11. 苦労した点	現場での研修には参加できず、完全にオンラインだけの研修参加だったため、研究で自分自身が学んだことを、どのような形で生徒に還元することができるのか、どのような資料や教材を使えばよいのか、当初は悩んでいた。そこで、千葉県国際交流センターに赴いて資料の提供を受けた。また、新型コロナウィルスによる休校や行事予定の変更もあり、授業の見通しを立てるのも困難であった。グループワークができない中で、どのように生徒とインタラクティブな授業ができるのかについても、工夫が求められた。
12. 改善点	何を単元全体で生徒に学んでほしいのか、そのために各 1 時間の授業では何をすべきなのかを、より具体的に、詳細に考えるべきであった。いろいろなものを 1 つの授業に落とし込んでしまったため、生徒に考えさせたい点（国際協力に必要なこととは、という観点）について十分に提示することやその時間をとることができなかったことが反省点の 1 である。 　また、感染予防のため、グループワークができなかったが、その中でも複数人と議論が可能になる方法を考えていかねばならないと感じた。 　英語の使用に関しては、議論の中で使用すべき表現などより明確にして、言語的サポートをより計画的に行うべきであった。
13. 成果が出た点	地域にいる外国人について、生徒が地域にある様々な取り組みや実体験を多く語っており、これまで意識していなかった地域の問題を知ったり、地域をグローバルな視点で考えたりするきっかけとなったようだった。また、以下にあるように、文化の異なる人々を差別してはならないという認識を強くしたようだ。 　また、本授業前に行った SDGs に関する比較研究では、各生徒が国際問題に関心を持ち始め、中には海洋プラスチックごみ削減のためのボランティアに参加した生徒もいた。自分たちの住む社会に対する意識が高まったように思う。
14. 学びの軌跡（児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど）	生徒が授業後に英語で書いた感想の一部を以下簡潔に和訳） 「一人一人に多様なバックグラウンドがあることを知った。それにより、日本において必要な支援を受けられないのであれば、直ちに解決すべき問題だと思う。」 「外国人や異なる文化を理解することは大切であり、多くの取り組みがそのためになされてきたことを知った。そうした取り組みを行っていけば、お互いが困難な状況に陥ったときに、助け合えると思う。」

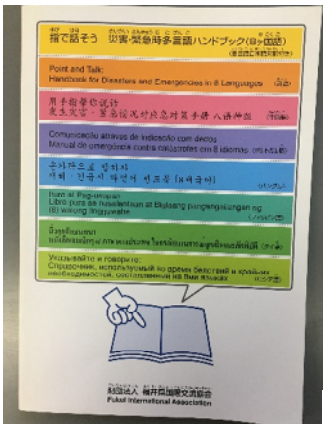
	「世界には多くの差別を受け、奴隷のように扱われてきた歴史があることを学んだ。今の日本でも、外国人に対して同様な状況があるのではないか。日本人も多文化を尊重し、悪しき状況を変えていかねばならないと思う。」 「(豆腐１00 万丁プロジェクトについて) 感謝の気持ちを持つということは、世界に共通しているものであるということ、多くの国が日本と深いかかわりがあるということを学んだ。」
15.　授業者による自由記述	本来であれば、海外や実地による研修に行き、そこで得た情報をもとに生徒に授業をするはずであったが、それが不可能となってしまい、授業のやり方について、悩むこともあった。しかし、実際に授業を考えていく中で、本研修で学んだことに加えて、自分が大学時代で取り組んできたことや、自分の身近にあるものを教材として活用していくことができるのではと考えられるようになった。このような時期だからこそ、より柔軟な考えや対応が大切なのであると感じた。「できない」ではなく「どうやるか」について、考え、実行する良い機会となった。 本研修に参加して、国際理解教育を実践する多くの先生方の取り組みを知れたことも、前向きに授業実践を考えるきっかけとなった。特に、佐藤先生の講義にあった、「学校現場や教員間でも協働が必要だ。学校も、外に目を向けて助けを求めたり、外部リソースを使ったりすることができる。」という言葉を受け、JICA 地球ひろばへの訪問や千葉大学の留学生を授業にお呼びするなど、外部との連携の実行に移すことができた。この研修では、知識だけでなく、自分の意識や行動の面で、多くのものを得ることができ、関係者の方々に感謝の気持ちでいっぱいである。 海外との交流が難しい中でも、生徒がグローバルな視野を持てるよう、国際理解を促進する取り組みを、個人の力だけでなく、地域や他の団体などの力を借りて、これからも続けていきたい。

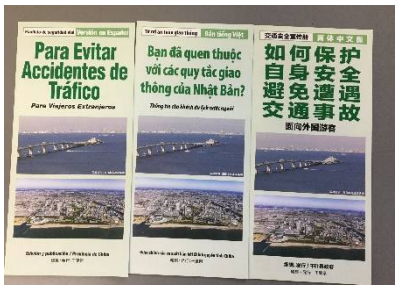
参考資料：
資料・書籍の貸し出し
千葉県国際交流センター　https://www.mcic.or.jp/ja/

実際に授業で使用した資料の写真









Lesson 9 Vancouver Asahi (Consolidation)

Today's Goals

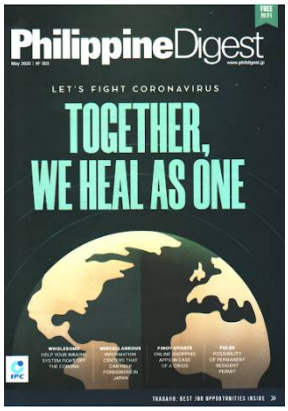
① To understand the situations that foreign residents face in in our communities.
② To understand the communities and the histories of Nikkei in and outside of Japan.
③ To foster an attitude for cross cultural understanding.

Task1

Look at the materials in spot A or B. Choose one and think about what it is for, and write the number of SDGs that the material is expected to achieve.

Material	Why is it needed?	Expected SDGs
	Target: Purpose:	Number: Reason:

⊟ Share your ideas with your partner.



Task2

Read the articles about Soybeans for One Million Packets of Tofu from Paraguay, and answer the following questions.

① What made Nikkei farmers take action to support the victims of the disaster?

② How do you think the people who received the tofu felt about the donation from Paraguay?

③ Why do you think the tofu for donations were named “kokoro ha hitotsu”?

Task3

What lessons did local Canadians and Japanese immigrants learn from the Asahi baseball team playing in Vancouver?

① For local Canadians:

② For Japanese immigrants:

Task4

Write what you have learned in the lesson.